



あいおいニッセイ同和損保は
障がい者スポーツを応援しています。



東京都スポーツ推進企業

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

損保業界唯一、4年連続で東京都スポーツ推進企業に認定！

2018年12月6日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長：金杉 恭三)は、「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする『特色ある個性豊かな会社』」を目指し、全社を挙げて障がい者スポーツ支援を実施しています。

このような当社の活動が評価され、11月30日に、4年連続で東京都スポーツ推進企業^{*}に認定されましたのでお知らせいたします。

当社は、2006年に(一社)日本車椅子バスケットボール連盟日本代表の公式スポンサーとして障がい者スポーツ支援を開始し、以来、2014年に(公財)日本障がい者スポーツ協会の公式パートナー契約を締結、2016年に(一社)日本身体障がい者水泳連盟のオフィシャルスポンサー契約を締結する等、全国各地で障がい者スポーツ支援の取り組みを展開しています。

「観て、感じて、考える」をスローガンとした社員による大会応援からスタートし、その活動を通じて得た多くのヒントを、現在の多様な取り組みにつなげています。

今回、全国での各種活動が評価され、4年連続で認定を得ることができました。

【当社の主な取り組み】

当社は、障がい者スポーツ支援の取り組みや社員参加のスポーツ活動、社内健康増進の取り組みなど、支援部門35取り組み、実践部門6取り組みを申請し、東京都より認定を受けました。主な取り組みは以下の通りです。

- 【継続】
- ①「アスリート雇用」(障がい者選手14名、健常者選手4名) ※11月30日現在
 - ②全国での「スポーツ大会への社員応援」の実施
 - ③全国での「スポーツ大会での運営ボランティア」の実施
 - ④所属アスリートによる「自治体での障がい者スポーツと共生社会の理解活動」
 - ⑤所属アスリートの教育を狙いとした「アスリート研修会」の実施
 - ⑥「障がい者スポーツ関連団体への支援」(協賛、寄贈、人財派遣等)の実施
 - ⑦「パラアスリート・スカラシップ制度」によるアスリート支援
 - ⑧所属アスリートによる「小中学校での体験授業」の開催
 - ⑨スポーツ振興、とりわけ障がい者スポーツ支援による「自治体との連携協定」の実施
 - ⑩経済団体(オリンピック・パラリンピック等経済界協議会等)におけるレガシー創造への参画
- 【新規】
- ①上智大学での「提携講座(障がい者スポーツ関連科目)」の設置
 - ②障がい者スポーツ支援を柱とした「上智大学との連携協定締結」
 - ③全国での「ボランティア基礎セミナー」の開催
 - ④所属アスリートを紹介する「アスリートガイドブック」の発行
 - ⑤所属アスリート派遣、社員参加による「東京都および区・市主催イベントへの協力」
 - ⑥アジア大会・アジアパラ大会出場アスリートの「社内壮行会の開催」
 - ⑦「アジアパラ大会の現地応援」の実施
 - ⑧障がい者スポーツ支援に伴う「社内施設のバリアフリー化」の実施
 - ⑨東京都「都市ボランティアの募集支援」活動の実施

なお、当社の障がい者スポーツ支援の取り組みについては、障がい者スポーツ支援webサイト「AD Challenge Support」にてご覧いただけます。

◆標語

「観て、感じて、考える」

- ・当社障がい者スポーツ支援の取組みの柱の1つである大会応援を促す際の共通標語として社内で使用。
- ・まずは、大会の現場を観ることが大事であるとの考えから始まることを伝えるための標語。



障がい者スポーツ
応援サイト

ADチャレンジ

検索



※【東京都スポーツ推進企業とは】

2015年度から東京都が制定した制度。従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における支援を実施している企業等を、申請に基づき「東京都スポーツ推進企業」として東京都が認定するものです。

認定された企業には、認定証及び認定マークの交付、並びに都ホームページにて社名等の公表が行われます。

この中から、特に社会的な影響や波及効果の大きい取り組みをしている企業等が「東京都スポーツ推進モデル企業」として選定、表彰されます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

